

KUMAGAYA SOUTH
Rotary Club of
Saitama RI
Dist. 2570

President : Fujio Watanabe
Secretary : Shoichiro Okamoto
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi



2016. 7. 13

No. 2



John F. Germ
RI President, 2016-17
Osami Maejima Gouverneur
RI Dist 2570

熊谷南RCテーマ ロータリーを学んで実践そしてエンジョイ

第871回例会 会報



～ 渡邊会長のあいさつ ～



～ 各委員長のあいさつ ～



植竹SAA・クラブ奉仕委員長



清水職業奉仕委員長



長谷川国際奉仕委員長



石井青少年奉仕委員長



島崎ロータリー財団委員長



岡部20周年記念事業
実行委員長



矢部出席推進・ニコニコBOX・異業種交流BOX委員長

会長の時間

会長 渡邊 藤男

皆さん。こんばんは

今年度第二回目の例会です。本日は先週に引き続きクラブ協議会パート2という形で例会を進めて参ります。発表される委員長の方はよろしくお願ひいたします。

今年度は変更箇所が何点かあります。一つは、食事の件、もう一つは、クラブのホームページの件です。

ホームページに関しては誰でも見られるような形に変更してオープンなロータリーを目指していきたいと思っております。

これによりロータリーの公共性とイメージアップにつなげていければと思っております。

先週の土曜日、国立女性会館におきまして「ロータリー米山記念奨学部門セミナー」が開催されております。当クラブからは、井上米山記念奨学委員長が出席されております。委員会報告におきまして発表をお願いいたします。

熊谷東RCからも担当者が出席しており、今年度は委員会の行事などを合同でできるものがあれば当クラブとジョイントで行いたいとの意見交換もできました。

ジョイントできる部分があれば当クラブも積極的に進めて参りたいと思っております。

幹事報告

幹事 岡本庄一郎

1. 地区より
 - * 「第15回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
 - * ハイライトよねやま 196
2. 熊谷暴力排除推進協議会より
 - * 平成28年度総会資料について
3. 熊谷RC・行田RCより
 - * 年度計画書

本日のプログラム 7月27日(水)

卓話 栗原良太様

4. 熊谷南RC 第870回会報

以上が届いております。

クラブ協議会

R財団委員長 島崎次弘

今年度R財団委員長を担当します。一年間よろしくお願ひします。

R財団委員会が、今年度まずやるべき活動は、来年の3月に予定しております継続事業の「千年桜」の植樹への地区補助金を獲得することです。これはすでに4月に地区へ補助金申請の手続きをしており、先日地区からR Iへ補助金申請の手続きが完了したという報告がありました。

あとはR Iからの返事待ちですが、まず問題なく頂けると思っておりますので、確定したら改めて報告致します。

今年度はR財団設立100周年の記念の年に当たるそうです。財団への寄付が各クラブのロータリーに於いての重要な活動の一つになっておりますが、この寄付金の使い方を始め、財団の活動がよくわからないと言う方も多いためです。そこで11月のR財団月刊を目途に、地区のR財団部門委員会から担当の役員をお招きして卓話をして頂き、財団への寄付の重要性と、どのように使われていくか、その仕組みを分かり易く説明して頂き、皆様に財団寄付への理解を深めて頂きたいと思っております。

又、その寄付に付きましては、クラブが行わなければならない寄付は会費から出すように年間予算に計上されておりますが、他にポールハリスフェローとベネファクターという個人寄付が必要であり、当クラブもこれまで継続して行ってきました。ベネファクターは慣例として会長にお願いすることになっておりますが、ポールハリスフェローは会員が持ち回りで負担することになっております。渡邊会長と相談して皆様をお願いしたいと思っておりますが、声をかけられた方はぜひ前向きな返事をお願いします。

会長方針にのっとり

国際交流を通じて、ロータリーの素晴らしさを感じられるように努める、国際支援をつうじて、国際社会に貢献できるように努める。

活動計画としては

海外姉妹クラブについて交流が出来る環境を整えるように協議を行っていく。

地域で支援に力を入れている運動について、会員の皆様に理解を深めていただくようにしていきたいです。

委員会報告

第一回米山記念奨学部門セミナー報告

米山記念奨学委員長 井上哲孝

第一回「米山記念奨学部門セミナー2016」が、平成28年7月9日に、国立女性会館にて開催され、米山記念奨学委員長の私、井上が出席しました。開催趣旨を始め、セミナーの内容をご報告いたします。

①第2570地区 前嶋ガバナーの話(抜粋)・・・東京ロータリークラブの創設者・米山梅吉氏、実は日本国内における「信託の祖」である事はあまり知られておらず、彼は「三井信託銀行(現三井住友信託銀行)の創立者の1人である。ロータリークラブにある「米山記念奨学会」は東京ロータリークラブが創設したものである。諸先輩方の偉功をガバナーの立場として、私自身も邁進して行く。

②米山記念奨学部門諮問委員 野中パストガバナーの話(抜粋)・・・私事であるが、以前は日比親善や日豪相互訪問に力をいれて頑張っていた。ロータリー活動・奉仕活動の中で、私見ではあるが「若い人たちの力になること」が最も重要であると思う。現在、奨学生の総数は約19,000人にも上る。誇るべきことと共に、さらに増えることを期待する。

③米山記念奨学会理事 加藤パストガバナーの話(抜粋)・・・ロータリー財団は国際ロータリーの一部であるが、米山記念奨学会は日本独自の寄付組織。日本のロータリークラブの両輪である。米山記念奨学会は34地区の合同プログラムである。19地区合同プログラムとして、RLIがある。以前は、ガバナー及びガバナー補佐は自動的に米山記念奨学会の評議委員になっていたが、法改正があり、現在では2570地区(1名あたりの寄付額が少ないにも

関わらず・・・)より、評議委員1名・理事1名・監査1名が選出されている。役員選出に見合う寄付金を期待する。

④部門セミナー開催の趣旨 忽滑谷部門委員長の話(抜粋)・・・本日の部門セミナー開催の趣旨。寄付及び特別寄付のお願い。ピーク時の会員は13万人、現在は8万人。学生を減らす・積立金を取り崩す・寄付金単価を上げるの3者択一。奨学金は、日本と母国との架け橋になって貰いたいためにあるもの、決して収入の補填を目的とはしていない。つまり、裕福な学生であっても、志しある若者であれば奨学生になることが出来る。その点も考慮いただきたい。

その他、奨学生によるスピーチがあり、合計12名の奨学生がたどたどしい日本語でスピーチをした。今後本年10月の「卓話」を依頼すべく、渡邊会長と打ち合わせをする予定である。以上

● 出席報告

例会日 7月13日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
19	9	10	0	47%

● ニコニコBOX・異業種交流BOX

渡邊藤男会長・岡本庄一郎幹事

皆さんこんばんは。渡邊年度2回目の例会です。まだ少々、緊張していますが、宜しく御願致します。今日はクラブ協議会パートIIです。発表者には宜しく御願致します。

岡部俊之会員

来週はお祭りだぞう。梅雨もあがるんだ。

島崎次弘会員

いよいよ本格的な暑い夏がやって来ます。皆様もお体をご自愛下さい。本日の委員長挨拶よろしく御願致します。

植竹知子会員

晴れると暑いし、曇りだとジメジメで、何だかさっきりしないのは私だけでしょうか?身体大事に・・・

石井一則会員

こんばんは。青少年奉仕委員会、委員長の石井です。1年間よろしく御願致します。

矢部喜明会員

本日もよろしく御願致します。

熊谷南ロータリークラブ

会報・広報 (IT) 委員会 兒玉達紀

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya-south-rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>